

進捗状況の概要

大分大学 COC+事業は①事業協働地域全体計画の協議と企画を行う各種組織の構築、②「大分豊じょう化教育プログラム」の開発と推進を目的とした教育プログラム開発関連事業、③就業拡大を目的とした県内就職率向上関連事業、④産業振興・雇用創出関連事業としての合同研究成果発表会等の4つの事業で推進することとしている。平成27年度の取組の進捗状況は以下のとおりである。

1. 事業実施体制整備事業

- ①COC+事業申請のために、「大学等による『おおいた創生』推進協議会」、「事業実行委員会」を5月19日に設置して本事業の申請の準備をおこない、採択後は、大分大学 COC+推進機構を設置し、本事業の5つの柱に基づいた事業準備及び各種事業をおこなう体制を整備し、事業啓発を目的とした「キックオフシンポジウム」を開催して約250名が参加した。
- ②COC+大学では、教育カリキュラムの開発や県内就職率の向上等に関する協議をおこなう「教育プログラム開発委員会」「雇用創出・県内就職率向上委員会」を設置して次年度以降の取組の方向性を策定できた。また、事業評価をおこなう「内部事業評価委員会」を設置して事業評価をおこなった。
- ③COC+事業協働機関では、「教育プログラム開発部会」、「県内就職率向上部会」、「産業振興雇用創出部会」を設置して、次年度以降の取組の協議をおこなった。

2. 教育プログラム開発事業

- ①COC+大学において教養教育科目を中心に、学生の職業意識や職業に関する企画力、大分地域に関する意識等の向上に関する企業等と連携した教養教育科目の3科目の検証授業と2科目の新規事業の試行をおこなった。このことをとおして、「大分を創る人材を育成する科目」の方向性を検討して、平成28年度入学生以降を対象にする「大分を創る科目」を88科目（平成28年度開講科目）を設定し、1科目2単位の履修を必須として教養教育履修ガイドブックを作成した。さらに、企業の意見（大分県中小企業家同友会等）を取り入れるとともに、教員による先進大学調査も踏まえながら、学生が学ぶ規準の基本的な事項を設定し、平成28年度の「大分を創る科目」の設定に反映した。また、高度化教養科目の開発や「匠」認証システムに関する原案を作成した。
- ②COC+連携校（参加校及び協力校）の8大学等の全てにおいても、「大分を創る人材を育成する科目」に関するフォーマット作成と科目の設定、及び46科目の単位互換科目の選定をおこなうとともに、授業収録の方法等を協議し、平成28年度からの単位互換科目の収録体制ができた。
また、参加校の教職員合同で教育力の向上と教育理念の共有化を図るためのFDワークショップ、就業力向上に関係する既存科目のアクティブラーニングの導入に関するFDプログラムの開発や、教育方法改善を目的にした合同FD研修会を開催した。

3. 県内就職率向上事業

- ①県内就職率向上（43%→53%）を目指し、事業協働機関との連携のもと、平成28年度から実施する「県内企業魅力発見セミナー」「インターンシップフェア」「県内企業シゴト発見フェスタ」の実施方法について協議し、平成28年度以降の取組の概要を決定した。

4. 産業振興・雇用創出事業

- ①これまで県内企業に各研究機関の研究成果を活用してもらうことを目的に、大分高等教育協議会（地域連携研究コンソーシアム大分）と大分県産業科学技術センターが共催して合同研究成果発表会を開催していたが、大学等による「おおいた創生」推進協議会が主催に加わり、「環境・エネルギー関連 他」分野の発表テーマで同発表会を開催した。また、産学官連携CDとURAが連携し、共同研究・受託研究の増加に努めている。

<外部評価委員会の開催>

- ①平成27年度の4事業の実績についての「平成27年度地（知）の拠点大学による地方創生推進事業報告書」及び「同別冊資料集」を基にして外部事業評価委員会において事業評価をおこなった。

（COC+大学名：大分大学、事業名：地域と企業の心に響く若者育成プログラムと大分豊じょう化プラン）